

Koegel, Paul, Elan Melamid, and M. A. Burnam. "Childhood risk factors for homelessness among homeless adults." *American Journal of Public Health* 85.12 (1995): 1642-1649.

本稿では、ホームレスのデータと一般に関する比較二次データを使用して、成人のホームレスのリスクを高める可能性のあるネガティブな小児期および家族の経験を特定した。1563人のホームレス成人の確率サンプルの中で、このサンプルのかなりの数が、貧困、住宅の不安定性、家族の問題など、複数の領域にまたがる子供として複数の問題を経験していることが分かった。女性と白人は、個人または家族の問題を示唆する経験を不釣り合いになっている。ホームレスの成人は、小児期の家外配置、公営住宅での在職期間により、ホームレスのリスクが高くなったが、身体的虐待のリスクは大きくならなかった。また、女性は性的虐待のリスクが高い結果がみられた。

ホームレスの脆弱性は、年齢、性別、人種/民族グループ全体に不均一に分布する要因に起因することも分かった。